



「SM 物流研究会」参加について

株式会社オークワ（代表取締役社長 大桑弘嗣 以下、当社）は、2024年10月23日（水）より、「SM 物流研究会」に参加いたしましたので、お知らせいたします。

これまで、『2024年問題』をはじめとした物流課題について、当社でも独自で検討、取り組みを進めてまいりましたが、これを機に、各社と連携を図りながらより社会のインフラとして機能していけるよう物流改革を行い、サプライチェーンの全体最適が図れる取り組みを継続的に推進してまいります。

■「SM 物流研究会」の概要

・目的

「2024年問題」をはじめとする物流危機を回避し、地域の生活を支える社会インフラとしての責務を継続して果たすため、物流分野を各企業間の「競争領域」ではなく「協力領域」と捉えて、各社の協力による物流効率化策を研究・検討する。

・発足背景

本研究会は、物流分野を「競争領域」ではなく「協力領域」と考え、各社協力による物流効率化策、また、サプライチェーン全体の効率化につながる施策を検討するために、「SM 物流研究会」（当時、「首都圏 SM 物流研究会」）を2023年3月16日に発足し、活動を開始しました。首都圏以外の企業の参加もあり、現在、研究会は二部制となっています。「全体会」の「SM 物流研究会」では、サプライチェーン全体の物流効率化、「エリア部会」の「首都圏 SM 物流研究会」では、各エリアのスーパーマーケットの物流効率化を行っています。

・参加企業

サミット株式会社、株式会社マルエツ、株式会社ヤオコー、株式会社ライフコーポレーション、株式会社カスミ、株式会社西友、株式会社いなげや、株式会社東急ストア、株式会社原信、株式会社ナルス、株式会社平和堂、株式会社エコス、株式会社たいらや、株式会社マスダ、株式会社与野フードセンター、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ベイシア、株式会社万代、株式会社オークワ 参加企業計19社

以上